

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871500025
法人名	有限会社 やわらぎ
事業所名	グループホームやわらぎ川内
所在地	愛媛県東温市南方1787番地2
自己評価作成日	平成26年7月7日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年7月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>庭には畑があり、先日は地域の方、他事業所の方々を招き、芋掘り大会を行い、住んでおられる方も誇らしげに参加しておられました。自然を活かした行事を取り入れイキイキ、ワクワクした入居者様の姿をたくさん見られるよう、今後も支援していきたいと思えます。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所では、ユニット毎に数名ずつ外出できるよう支援されている。買い物のお好きな方は、「買い物ツアー」として、近くのスーパーで買い物を楽しむ機会を作っておられる。温泉が好きな男性利用者は、男性職員が入職したことで、月に1度、職員2名の利用者で地元の「ふるさと交流館」の温泉等、近くの「温泉めぐり」をして、食事もして楽しめるよう支援されている。遠出が難しい方は、「ご近所散策ツアー」として、近所の方の庭でお花を見たり、麦畑の生育を見ながら外で過ごせるよう支援されている。6月には、事業所の畑でじゃがいも掘り、秋には、さつまいもの収穫を計画されている。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームやわらぎ川内

(ユニット名) トト口の森 B棟

記入者(管理者)
氏名 竹崎 かなえ

評価完了日 平成26年7月7日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事業所の理念と、職員間で考えた理念を、目に付きやすい場所に掲示する事で、共有するよう努めている。また、利用者様の個性を大切に、その方らしい生き方でイキイキワクワクと毎日が過ごせる事を心掛け、実践につなげている。 (外部評価) 今年4月に、管理者の交代があり、管理者は、理念にある「利用者の尊厳」や「イキイキワクワク」をキーワードに、「言葉遣い」「情報の共有」の大切さを職員に話しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方に運営推進会議に参加して頂いたり、事業所からも地域の掃除や溝掃除等に参加している。また、ごく限られた近所の方とは野菜や花を頂いたりの交流がある。ただ日常的な交流は挨拶程度になっている。 (外部評価) 庭の一角で犬を飼っており、近所の子ども達が、犬と「遊んでもいいですか」と時々立ち寄ってくれる。行事はユニット毎に行われており、月に一度「お茶会」をするユニットでは、リコーダーの演奏を披露してくれるボランティアが来てくれる。年2回、地域清掃があり、職員が参加されている。隣接する他福祉施設との交流があり、月1回の俳句大会へ楽しみに参加する利用者がおられ、利用者は決められたお題で俳句を詠み、順番に発表される。又、事業所主催の夏祭りには、4～5名の施設入所者が参加して、利用者と一緒に楽しんでいる。近所の高齢者の方が、電動車椅子で立ち寄られ、「ここはどんな人が入れるか」と尋ねられた際には、事業所では、お茶をお出して、説明をされた。	管理者は、事業所として「地域に協力できることを拡げていきたい」と話しておられた。又、職員は「地域に事業所のことをもっと知ってもらって、地域の方と一緒に取り組めることを考えていきたい」と話されていた。職員のアイデア等も採り入れながら、具体的な取り組みをすすめていかれてほしい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議や、行事等に参加して頂き、認知症の人と交流して頂く事で、認知症の人を身近に感じてもらうと共に、職員の支援の方法を直接見て頂き、理解を深めて頂けるよう努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 必ず、偶数月の第二水曜日に開催し、地域の方や、利用者様とその家族の方、また包括支援センターの代表の方にも参加頂き、そこで話し合った意見を取り入れ、サービス向上に活かしている。</p> <p>(外部評価) 会議には、地域包括支援センターの担当者、近所の方、各ユニットの利用者の代表者と、ご家族が1名ずつ参加されている。会議では、「利用状況・職員体制・行事報告」利用者の「健康状態」等について説明し、意見交換をされている。近所の方からは、「庭の藤の花を見に来てください」と言っていた。8月の会議からは、民生委員が参加して下さるようになってきている。管理者は、「まず、きちんと話し合いをする会議にしていきたい」と話しておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 毎月開催されている、東温市役所研修に参加している。先月は、各事業所が集まる中、当事業所の事例を発表し、インシデントプロセス法を活用した事例検討会の中で、ケアサービスの取組みを伝え、さまざまな意見を得る事ができた。</p> <p>(外部評価) 今年度、東温市が「高齢者の危険な場所」を示した「ケアマップ」を作成することから、事業所職員も作成に協力しておられる。介護相談員の訪問が毎月あり、利用者とお話したり、時には一緒に歌を歌ったりされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 拘束を理解した上で、自傷行為のある方に対して、家族さんの同意を得、介護用ミトンを使用している。経験が浅い職員は「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しているとは言い難く、研修を行う必要がある。</p> <p>(外部評価) 皮膚疾患のある方で、どうしてもご自分で搔いてしまうことがあるため、強く搔いてしまう右手にミトンを使用している方がおられる。ご自分で外すことができるため、職員は見守りを行いながら、できるだけ皮膚を傷つけないように注意を払っておられる。日中、玄関の施錠はしておらず、調査訪問時、玄関は網戸になっていた。利用者には、上着を着て帽子を被り、家に「帰りたい」と玄関に向かう方もおられるようであるが、例えば「ご飯を食べてその後考えますか」と気を逸らしたり、事業所周辺を散歩して気分転換できるよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 十分とは言えないも、研修である程度の法律については学んでおり、身体に限らず言葉の暴力においても、虐待を見逃さないよう注意を払い防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 過去の研修等で学んでいる職員もいるが、活用できるような支援は出来ていない。今後、全職員が学ぶ機会を持てるよう努めていきたい。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明を行い、理解、納得をして頂いた後に、不安や、疑問点が生じた場合でも、再度、説明させて頂き、理解・納得を図っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者本人が意見を言いやすい関係づくりを目指している。ご家族には運営推進会議に参加して頂いたり、手紙での近況報告や、来所された際に、出来るだけ話や意見を聞く機会を設け、それらを運営に反映させている。	さらに、利用者の日常の様子を知っていただいたり、認知症への理解を深めていただくこと等で、ご家族から意見や要望を引き出す工夫をしてみたい。
			(外部評価) 7月に初めて事業所独自の「うえるかむ川内」という事業所便りを発行し、写真を載せて、行事時の利用者の表情がわかるように作成されている。事業所では、今後、年に1~2回発行していきたいと考えておられた。毎月のご家族への郵送物の中には、利用者個々の担当職員が暮らしぶり等を書いた手紙を同封されている。海外に住むご家族には、電子メールでやりとりされている。法人主催の研修会に参加したご家族から、「行ってよかった」という感想があったことから、管理者はご家族への「勉強会を開いていきたい」と考えておられた。毎年、事業所主催で開催する「夏祭り」は、以前は多くの地域の方にも案内していたが、昨年より、「家族とのふれあいを中心にしたい」という事業所の思いから、「利用者と家族中心の夏祭り」になるよう取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月、職員会や、経営企画会議を開き、意見や提案を聞き、運営に反映させる事が出来ている。	
			(外部評価)	
			職員個々の得意なことや好きなことを活かしながら取り組める体制を作っておられる。例えば、縫い物が得意な職員が利用者が使うクッションを作ったり、折り紙の得意な職員が、壁画の飾りを担当したり、お菓子作りが好きな職員は、おやつを作る等して活躍する場を作っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者は、各事業所を定期的に回り、職員会等に参加し事業所の状況を把握するよう努めている。また、各自が向上心を持って働けるよう、管理者や職員に声を掛け、意見を取り入れる事で職場環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			社内研修や、外部研修を受ける機会を設け、働きながらトレーニングしていく事を進めている。ただ、シフトの関係もあり、参加出来る人数が限られている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			地域密着型ケア会議を偶数月に開き、情報交換を行い、質の向上に結び付けている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			アセスメントシート、ケアプランを参考に、ご本人が安心できるような関係づくりに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族と話し合いをし、困っていること、要望等に耳を傾け、また逆に、事業所がご本人に対し困っていることを、ご家族に相談するなど、意見を出し合いながら、信頼関係を深めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人やご家族から聞いた上で見極め、今必要とされている支援が出来るよう努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) させて頂くだけでなく、してもらわない、対等な立場の関係が築けるよう努力している。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) コミュニケーションをとり、その利用者について共に考え支えている関係を築いている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人との関係は年齢的な事もあり途切れがちだが、ドライブ等の支援で馴染みの場所へ行き、昔話をするなど、記憶が途切れないよう支援に努めている。	
			(外部評価) 姉妹が利用者ご本人を探して訪ねて来られた時は、居室でゆっくり過ごせるよう配慮された。ドライブ中に、偶然通った道の看板が利用者の目に留まり、以前住んだことのあるだと懐かしがられ、その後何度かドライブして出かけられた。7月に、事業所の隣に、教会が移転してきており、懐かしいという利用者もあり、おつきあいにつなげたいと話しておられた。元利用者のご家族がボランティアスタッフとして協力してくれており、運営推進会議に参加したり、事業所の飼い犬の散歩もしてくれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食席の配置を工夫したり、利用者間のコミュニケーションがうまく取れるよう職員が橋渡しを行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約が終了した利用者のご家族がボランティアスタッフとして、行事に参加して下さっており、色々なアドバイス等をして頂いている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個別支援として、大好きな映画を観に行かれたり、近所の施設に入所されているご主人の面会に行かれたりと、希望を把握し検討、実行に反映している。 (外部評価) 映画がお好きな利用者には、月1回程度、職員と映画館に出かけて楽しめるよう支援されている。隣接施設に入所しているご主人に「会いたい」という希望のある方は、週に1回程度、面会できるよう付き添い支援されている。職員は、「もっと利用者に関わり、利用者個々の希望を把握していきたい」と話しておられた。事業所では、現在、「在宅版ケアプラン作成方法検討委員会」のフェースシートと、センター方式の「私の姿と気持ちシート」を応用して、利用者の思いや意向の把握に取り組んでいるところである。	利用者ご本人の思いや意向、ご家族の希望等についての情報や、職員の日々の気づきや意見、アイデアを出し合い、利用者一人ひとりが自分らしい暮らしを続けられるような支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご家族や、今まで関わりのあった居宅支援専門員等に情報提供して頂くと共に、ご本人からも話を聞き取り、情報収集したものを、アセスメントシート等にまとめ、把握できるように努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 本人の日々変化する、生活状況や、心身状態の気付き等、様子を記録し、職員間で共有し、現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>各担当者がモニタリングした結果に基づき、職員会でそれに対して意見を述べ合い、より良い介護計画が出来るよう努力している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>現在、管理者が介護計画を作成しておられ、毎月モニタリングを行い、利用当初は3ヶ月、その後は6ヶ月ごとに計画を見直しておられる。管理者は今後、「職員と話し合っ、介護計画を作成する流れを作っていきたい」と考えておられた。月に1度の職員会は、ユニット毎に行われており、利用者個々の担当職員が、モニタリングの状況について報告されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その日の様子等を記録し、変化があれば担当者が主となり、日々の申し送り、また、職員会で情報を共有しながら見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者一人一人に合った、日々求められているニーズや情報を職員間での、申し送りや連絡ファイル等で共有し、多機能な支援やサービスが柔軟に取り組めるよう心掛けている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>数十メートル先にある、お堂や神社まで散歩に行き、麦畑を見たり、地域内で行われているそうめん流しに出かけたりして楽しめるよう、行事計画を立て、支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 契約時に、ご本人、ご家族さんに、医療連携を結んでいる医師から直接説明し納得を得られている。また、体調に変化があれば、その都度医師に相談し、連携をとりながら適切な対応が来ている。</p> <p>(外部評価) 入居時、協力医療機関をかかりつけ医として希望するご家族には、協力医療機関の院長がご家族に直接、医療連携の体制について説明して下さる。ユニット毎に月2回の往診があり、入院が必要になった場合は、入院設備のある医療機関につないでくれる。他の医療機関の受診時は、基本的にご家族が付き添っているが、ご家族の都合がつかない時は、タクシーや介護タクシーを利用して職員が付き添うこともある。歯科については、これまでのかかりつけ医に通われる方がほとんどである。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 看護職として登録されている職員はいませんが、医療連携体制をとって下さっている医師に伝え、適切な受信や看護を受けられるように支援している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 入院先の医師や、連携室に対し、出来るだけ多くの情報をお伝え出来るよう努め、退院時には、医療連携をとって下さっている医師に対し、入院先の医療から頂いた、診療情報提供やサマリを共有させて頂く事で、今後の対応を相談しながら、関係作りを行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 中には、早い段階での話し合いを嫌う家族さんもいるが、契約時に重度化した場合の指針の文書を医師も交えて読み上げ、事業所でできることを十分に説明しながら、納得して頂けるように努力している。</p> <p>(外部評価) 利用者の中には、最期まで「ここでええけん」と言われる方もあり、ご家族の中には、看取りまでの支援を希望する方もいる。入居時から「最期までここで」と希望されており、終末期を事業所で過ごされ、意識がなくなった状態となり救急搬送して、その日に病院で亡くなられたような方がおられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 防職員による、AED講習会、また消防訓練等を経験している職員もいるが、新人職員に関しては、まだ行えていない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2度、昼間及び夜の災害時に備えた消防訓練や、地震等による、災害避難訓練等、消防士の指導のもと行っているが、新人職員等は、まだ行っていない。7月23日、火災訓練実施予定です。(東温消防署予約済)	
			(外部評価) 居室の電気スタンドがカーテンに当たるのをみて、職員から「危険ではないか」という意見が出たことを機に、出火元として設定して7月23日に避難訓練を行う予定となっている。電気スタンドの位置は改善されていた。近所の方2名に、もしもの時の協力をお願いしているが、今回の訓練には日程が合わず不参加のようだ。秋には、地震発生時の避難訓練を計画しており、隣接する他福祉施設に相談して協力していただくことになっている。事務所には、懐中電灯やラジオ等を入れた「非常用持出袋」が用意されていた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 声掛け時、言葉を選んだり、尊厳を無視したような言葉遣いにならないよう心掛けている。また、見下したような言葉を投げかける職員には、その都度注意している。	
			(外部評価) 調査訪問時、職員は、昼食後の利用者の口腔清掃で入れ歯の出し入れを介助する時、さりげなく口元をタオルで被い、見えないように配慮しておられた。管理者は、職員が不適切な声かけをした時等は、その都度注意するようにされている。利用者に声かけしたり、話したりする声の大きさやトーン等にも気を付けるようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ご本人に選んでもらったり、思いや希望を聞きだす言葉掛けをし、自己決定できるように働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ほぼ出来ているも、職員の人数が少ない時はやむを得ず職員側の都合を優先してしまうことがある。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣の介助が必要な方には、好きな色、好きな服のデザイン等、好みを把握するように努め、ご自分で更衣が出来る方にも、お洒落に対して意欲が湧くような声掛けをするよう支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る方には、声掛けをし、職員と共にお団子を丸めて頂いたり、簡単な下ごしらえや、食器洗いなどのお手伝いをして頂いている。また、噛む力がない人には、キザミ食にし、混ぜ込まず、食に対して食欲が増すよう、盛り付けにも注意を払っている。	
			(外部評価) ユニット毎に、「旬の食材を使用する」「既製品を使用しない」ということにこだわり、冷蔵庫の食材をみて利用者の好み等も考慮し食事を作っておられる。野菜は、ご家族や近所からのいただき物や事業所で収穫した野菜等、新鮮な野菜を使用されている。利用者は、豆のすじ取りやもやしの根取り等、野菜の下ごしらえをされる。調査訪問時、食後にランチョンマットを畳んだり、食器をお盆に重ねて下膳する利用者がみられた。職員が洗った食器を拭く利用者もおられた。気候のよい時には、お弁当を手作りして庭で楽しむこともある。事業所の庭で、毎年、渋柿がたくさん採れ、利用者と職員で干し柿作りをされている。出来上がった干し柿を冷凍庫で保管しておき、夏の暑い時のおやつにすると好評のようだ。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人に合った食事量や、体調を見て水分摂取など声掛けを行っている。食欲がなく栄養が不足している方には、メイバランス等で補給し、糖尿病がある方にはカロリー調整し、その人に応じた支援をしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声掛けをしている。必要があれば介助しているが、出来るだけご本人が歯ブラシを持ち、ご自分で磨いて頂けるような声掛け心掛けており、仕上げのみ、職員が確認しながら介助にて行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) トイレに座れる方は2名介助でも支援している。また排泄チェックシートを作成し、声掛けは時間をみて、出来るだけトイレで排泄できるように工夫している。</p> <p>(外部評価) 事業所では、座位を保つことができる方は、できるだけトイレで排泄できるよう支援されている。尿意を表せる方も、排泄チェック表を見て、2～3時間トイレに行っていない時には、声をかけて支援されている。自立している方は、夜間もスムーズにトイレまで行けるよう、居室の電気のみを長くしてベッドに届くようにしており、ご自分で電気を点けたり消したりできるようにされていた。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 個人の状況に合わせて乳製品や食物繊維を多く摂っていただいたり、ラジオ体操をしていただいている。それでも十分でない場合は医療機関との相談のもと薬による対応を行っている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 大体出来ているが、行事の際など職員本位の入浴になってしまう場合もある。入浴嫌いの方がおり、どうすれば楽しんで入っていただけるかが課題でもある。</p> <p>(外部評価) 基本的に、週2回午後からが入浴時間となっている。利用者の介護度が重度化してきたことから、機械浴の導入を検討されたが、浴室の広さのこともあり、実現が難しかったようだ。浴槽をまたぐことが難しい方は、職員が2人介助で湯船で温まれるように支援されている。男性の利用者で、入浴を好まない方がおられたが、利用者が声をかけて「男同士」でスムーズに入浴するようになった事例がある。湯船に入り、足の曲げ伸ばしの運動をご本人が決めた回数行いながら温まる方がいる。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) その人にあった部屋の明るさにしたり、季節にあった布団を準備し、気持ちよく休んでいただけるよう支援している。また日中であっても個人の体調に合わせて居室や畳スペースで休んでいただく場合もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬管理は出来ており、医療ファイルを作り、変化があればその都度申し送り職員全員が周知できるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 行事を通して楽しんでいただいたり、個別支援でその人にあった方法で楽しんでいただくよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 地域の俳句会や、買い物が好きな方は職員付き添いのもと行ってもらっている。近所の方のお宅の庭に花を見に行ったりもしている。	
			(外部評価) 事業所では、ユニット毎に数名ずつ外出できるよう支援されている。買い物のお好きな方は、「買い物ツアー」として、近くのスーパーで買い物を楽しむ機会を作っておられる。温泉が好きな男性利用者は、男性職員が入職したことで、月に1度、職員2名の利用者で地元の「ふるさと交流館」の温泉等、近くの「温泉めぐり」をして、食事もして楽しめるよう支援されている。遠出が難しい方は、「ご近所散策ツアー」として、近所の方の庭でお花を見たり、麦畑の生育を見ながら外で過ごせるよう支援されている。6月には、事業所の畑でじゃがいも掘り、秋には、さつまいもの収穫を計画されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金は事業所で管理している。大切さについては理解されている方もいるが、所持したり使えるようには難しいものがある。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) お誕生日にご家族に電話をして、お祝いの言葉を伝えてもらったりしているが、本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りをしたりは出来ていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花や絵を飾ったり、温度調節にも気を使っている。	
			(外部評価) ユニット毎に独立した建物となっており、それぞれに玄関から出て、行き来されている。ユニットを囲むように庭があり、松や桃、花梨や梅、いちぢくや柿、紫陽花等、季節に応じて楽しめるようになっている。調査訪問時、利用者は居間のテレビの前のソファに座り高校野球を観戦したり、畳コーナーの座椅子に座り、うとうとする方も見られた。昼食後には、麦わら帽子をかぶってテラスに出て煙草を吸う方もあり、洗濯物をたたむ利用者の様子も見られた。本棚には、小説や料理本等があり、利用者と職員で料理の本を見ながらメニューを決めることもあるようだ。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファに座り、利用者同士がお話をされたり、ひとりになりたい時は居室に自由に帰られている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご本人が使われていた馴染みの筆筒等を置かれたり、プレゼントされた飾り等を置かれ、居心地良く過ごしていただけるよう気を付けている。	
			(外部評価) 窓からは事業所の庭や畑の様子が見える。タンスやご家族の遺影を持ち込まれている方があった。ご家族の写真やひ孫さんが書いた絵を壁に貼ってある方もおられた。ご家族が持って来られたぬいぐるみを並べている方は、「みんな好き」と笑顔で話してくださった。俳句がお好きな方は、ご家族が月刊誌を毎月届けてくれており、楽しみに居室で読んでおられる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手作りカレンダーや、「トイレ」の表示等工夫し、ご本人が一人でも行けたり、日付がわかるようにしている。	
			(外部評価)	